

産業

— Industry —

人とともに、 地域とともに

まちの強みや特徴を生かしながら、
新たな挑戦を続ける人や企業。
そこで生まれるアイデアやつながりが、
佐倉の明日をつくる活力となっています。

- 1 佐倉ふるさと広場付近の農産物販売所「マルシェかしま」。
- 2 千葉に縁のある「つくり手」が集まる「にわのわアート&クラフトフェア・チバ」。
- 3 佐倉市スマートオフィスプレイス「CO-LABO SAKURA」内のコワーキングスペース。
- 4 佐倉第三工業団地。市内には4つの工業団地があり、様々な企業が操業しています。
- 5 佐倉花火フェスタで披露される佐倉青年会議所の手筒花火。
- 6 市内の産業が集結する「佐倉モノづくりFesta」。
- 7 老舗和菓子店 木村屋[1882年(明治15)創業]の蔵六餅は、佐倉を代表する銘菓です。



DATA

製造品出荷額等
[2017年度(平成29)]

31,545,989
万円

資料:千葉県「平成30年工業統計調査」



5



6

開花前線 Column

佐倉起業塾

商工会議所と連携し、創業を目指すかたに向けて佐倉起業塾を開催しています。受講者は、創業の基礎知識を習得できるほか、先輩起業家の体験談を聞くことや、ビジネスプランの策定支援を受けることができます。



7

Interview

SAKURA VOICE



イタリア料理店 オーナーシェフ
服部 訓史さん
Satoshi HATTORI

赤坂「グラナータ」をはじめ、各地で修行。
2016年(平成28)、市内にイタリア料理店「ト
ラットリア ノーチェ」を開く。2018年(平成30)
には「ヤチクロバーガー」もオープン。

子どもたちにとって 思い出の味になる料理を

子どもの頃から料理が好きで、高校生の時、料理人になることを決意しました。専門学校卒業後、都内の老舗イタリアンで修行。その後、コンサル業に携わり、店舗経営のサポートや飲食店のプロデュースをしました。料理人としてはめずらしい経歴ですが、現場経験やアイデアを生かすことができ楽しかったですね。

独立は35歳の時。高校生の頃から佐倉でお店を開くことが夢でした。昔より閑散としてしまった商店街を見て、「何とかしないと」という思いもありました。開店時は地元の人が大勢来てくれ、ご縁が広がり嬉しかったです。地域に密着したお店にしたいと、地場産食材を使ったり、市内のイベントで出店したりと結びつきを大切にしています。

自分の料理の原点は、かつて近所にあった大好きなレストラン。よく家族で食事を楽しみ、アルバイトもしていました。そういう記憶や思い出の味が故郷にあることは、すごく大切だと感じます。子どもたちにとって、佐倉がそういう場所になるといいなと思い、地元の料理人たちとともに「佐倉ism」という、「食」を通じたまちおこしの活動も始めました。少しずつでも、未来につながることをしていきたいですね。

山万株式会社

取締役副社長／林新二郎 さん



当社は1971年(昭和46)にユーカリが丘の開発を開始しました。自然と都市機能の調和する「住み続けられるまち」を実現したいという思いを根底に持ちながら、現在に至るまでディベロッパー事業を展開してきました。佐倉市は美しい自然に包まれ、深い歴史を誇る素晴らしいまちです。私自身、学生の頃からこのまちに憧れと愛情を抱いてきました。だからこそ、常に50年先の未来を予測し、「自分たちがやらなければ」という情熱を持って挑戦を続けています。「地方の時代」は佐倉がつくる、そんな勢いにあふれたまちにしていきたいと考えています。



ユーカリが丘の開発等ディベロッパー事業を展開。
佐倉のまちづくりに貢献する企業の一つです。

躍動する

—まちとともに、

当社は、光ファイバをはじめとする情報通信技術やケーブル、自動車電装システムや部品等の開発・製造をしています。佐倉事業所の開設は1965年(昭和40)。東関東自動車道や当時の新東京国際空港等、優れた立地が決め手となりました。緑化保全や地下ケーブル化など、景観・環境に配慮した工場として、地域の方々に受け入れていただけてきました。「佐倉モノづくりFesta」等のイベントにも参加させていただいており、近隣の子どもたちがものづくりに興味を持ってきて嬉しく思います。これからも、社会貢献につながる新たな価値を創造していきたいと思っています。



市内でもっとも長く操業する企業の一つです。情報化時代を支える最先端の技術がここで生み出されています。



株式会社フジクラ

佐倉事業所所長／緒方和也さん





レイクピアウスイ

白井ショッピングセンター協同組合理事長／鳥羽敏彦 さん



白井地区で長年愛されてきたレイクピアウスイ。地元主導型の商業施設として、地域活性化に貢献しています。



1984年(昭和59)の開店以来、地域住民のかたが求めるものをご提供できるよう柔軟な視野で商売を展開してきました。また、白井地区のかたがここを故郷だと感じられるまちにしたいと思い、「白井ふるさとにぎわい祭り」を開催しています。ピーク時には2千人を超えるかたが参加し、地域のパワーを感じます。白井の魅力をレイクピア自ら発信したいという思いから、市内外や海外のかたに地元の観光資源をご紹介しますGLOBAL-USUIという取り組みも最近始めました。多くの人に、白井を訪れ、楽しんでいただきたいと考えています。

企業の力 人とともに

方々とのつながりを築いてきた企業。
まちとともに、人とともに、ビジネスが発展しています。

The power of dynamic companies
Together with the city and the people

Companies that have long contributed to regional development and forged bonds with local residents.
Companies that have expanded their business by making the most of local strengths.
Business flourishes together with the city and the people.

当社は、業務用、家庭用飲料や「スジャータ」でおなじみのコーヒーフレッシュ等を製造・販売しています。関東の市場拡大拠点として、第三工業団地で千葉工場を操業開始したのは1987年(昭和62)。佐倉市は企業誘致に積極的なまちで、当時から様々な支援をしていただきました。市内で操業する中、人材確保をしやすことや、道路交通網の利便性、千葉港、成田国際空港等への近さなど、様々なビジネスメリットを実感しています。工業団地が発達しており、すぐそばで他の企業様との横のつながりを広げられることも強みだと思います。

「製造直販」を特徴とする東京めいらく。徹底した品質管理で鮮度が保たれている。



株式会社東京めいらく

千葉工場 取締役工場長／清水昭 さん



佐倉市スマートオフィスプレイス



多様な働き方の推進、新事業の創出、起業家育成・支援等を目的に、スカイプラザ・モール内に開設されました。コワーキングスペース、シェアオフィス、シェア工房を内包するほか、プリンターやインターネット環境が整備され、提携駐車場もあります。ビジネスの様々なニーズに応えるとともに、利用者同士の交流の場にもなっています。

A new breeze blowing in Sakura
A growing network, ideas that connect people

The city and its residents continue taking up new challenges while making the most of regional strengths and characteristics. As business possibilities grow, new connections between people are created.

当店は寛政年代頃に薬屋として創業し、明治時代から呉服店を営んできたと伝えられています。生地選びから採寸、仕立てまでを担い、一人ひとりのニーズや使用する場面に合わせて、着物をはじめとする商品をご提供しています。地域で長く商売をしていると、付き合いの長い知り合いから「こういうものが欲しいのだけど」と相談を受けることもしばしば。また、秋祭りをはじめとする地域の祭り衣装も主力商品の一つです。新しいものを取り入れながら、和装の魅力を広めていきたいです。

株式会社三谷屋呉服店

代表取締役／三谷新一さん

IT企業を起業し、オフィスの一室を利用しています。ユーカリが丘の自宅から近く、設備も充実していて、生活に近いビジネス拠点としてとても快適です。



佐倉クラウド
アプリケーションズ
株式会社
代表取締役
青藤孝史さん



佐倉に吹く、

一広がる輪、つな

地域の強みや特徴を生かしながら、
ビジネスの可能性が広がるとともに、人と

新町通りに面する老舗の呉服店。店内には色とりどりの美しい絹生地・布生地や、草履、足袋、割烹着や半纏等の和装品などが並んでいます。





にわのわアート& クラフトフェア・チバ

実行委員長／サカモトモコさん



陶器、ガラス、木工作品、織物等、出店作品は多岐に渡り、作り手との交流を楽しみながら購入できます。場内を彩るアート作品も魅力。

2012年(平成24)にDIC川村記念美術館の庭園で初開催された「にわのわ」。千葉に縁のある作家たちをご紹介したいという思いから始まり、現在は佐倉城址公園で開催しています。初夏の緑の中、アートやクラフト作品、フード等を楽しめるイベントとして人気を集めており、今では2万4千人ものかたが来場されます。一般のかたや子どもたちがアートやクラフトを生活に取り入れるきっかけになると同時に、作家同士がつながる場にもなっていると感じます。遠方からいらっしゃるかたも多いので、「にわのわ」に足を運ぶついでに市内をめぐり、佐倉のことを知っていただけたらと考えています。

新しい風

がるアイディー

新しい挑戦を続けるまちと人。
人の新たなつながりが生まれています。

世界各国からの旅行者、近所の子どもたち、市内の個人事業主など様々な人が訪れ、日々新たな出会いや発見が生まれています。



おもてなしラボ

オーナー／鳥海孝範さん

歴史生活資料館だった建物をリノベーションし、2015年(平成27)にゲストハウスとしてスタートしました。成田から近いので世界各国の旅行者が出入りしますが、佐倉は、観光名所もありながら、日本人が暮らすリアルなまちの姿がわかる場所なので、旅慣れた人にとってもおもしろい場所なのだとか。現在はコワーキングスペースやコミュニティスペース等もあり、近所の小学生や親御さん、高齢者のかたなど、多くの人が集い交流する場となっています。今後も、人と人が出会い、つながる仕組みづくりをしていきたいです。

